会 議 録

会議名 (審議会等名) 大野南地区まちづくり会議(第3回全体会)					
事務局 (担当課) 大野南まちづくりセンター 電話 0 4 2 - 7 4 9 - 2 2 1 7					
開催日	令和7年10月14日(火)				
委員	20人(別紙のとおり)				
出 席 その他 者	6人(廃棄物政策課2名・資源循環推進課1名・清掃施設課1名、 交通・地域安全課1名、その他1名)				
事務局	2 人				
公開の可否	■可 □不可 □一部不可 傍聴者数 0人				
公開不可・一部不可の 場合は、その理由					

主な内容は次のとおり。

- (●は委員の発言、◇はその他各課・機関等の発言)
- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 市からの事業報告
- (1) 相模原市のごみの現状と課題について

廃棄物政策課から資料に基づき説明を行った。

《主な意見・質疑等》

- ●第1期整備地の跡地については、メガソーラーで活用しているとのことだが、候補地の跡地利用についてはどのように考えているのか。また、有料化について、他市はどのような状況なのか。(藤井委員)
- ◇第3期整備地については、候補地選定に重点を置いているため、跡地利用は検討していない。第2期整備地については、公園として利用することは決定しているが、具体的に内容が決まっているわけではないが、埋め立てが完了したら、早い段階で、市民の方や地域の声をお伺いしながら、跡地の整備を考えていきたい。(廃棄物政策課中川副主幹)
- ◇ごみの有料化については、近隣だと、鎌倉市、藤沢市、茅ケ崎市、逗子市、大和市、海老名市、八王子市、町田市などが有料化しており、横浜市、川崎市は有料化していない。県内全体では有料化している自治体の方が少ない。(廃棄物政策課山口課長)
- ●「有料化しなくても済むよう、ごみを減量化しよう」というアピールした方が良い。 現在の無料の状態を続けるためにも、市民の方にもっと啓発した方が良い。また、跡 地利用については、埋め立て後に検討するとのことだが、埋め立て後を含めたメリッ トを示していかないと候補地の理解が得られないのではないか。(藤井委員)
- ●政令市のごみ量比較において、都市部でもあり、観光地でもある「大阪市」「京都市」のごみ量が少ない。理由等を分析していれば教えてもらいたい。(中村委員) ◇少ないところは、製品プラスチック回収、ごみの有料化、枝などの資源回収の取組 の他、集団資源回収の取組が盛んであるなどの理由が挙げられる。引き続き他市の取 組を分析しながら追いつき、追い越していけるようにしたい。(廃棄物政策課中川副 主幹)
- ●近隣でも、枝葉をごみにしているのはよく見かけるが、保管場所もないので、ごみ に出している。回収体制など課題はあると思われるが、本市では需要があると感じる。 (中村委員)
- ●あまりに細分化すると困る部分もあるが、本市は、分別の種類が少なく、うまくできていないという印象がある。また、市民の意識を醸成するため、もっと啓発が必要と感じる。また、事業系ごみが集積所に出されている場合、どのように対策すればよいのか。(岡城委員)
- ◇所管している部署は麻溝台環境事業所、事業系ごみ全般については、廃棄物指導課となっている。所管課では、調査などもしているので、具体的な事例があればご相談いただきたい。また、啓発については、もっと取り組んでいく必要があると感じてお

- り、全小学校への出前授業や大人への出前講座、集積所での啓発など、地道に頑張っていきたい。(廃棄物政策課山口課長)
- ●ごみの問題は、それぞれ持ち帰って周知などにも協力してもらいたい。(大木委員)
 - (2) 路上喫煙禁止地区の追加の告示について

議題に入る前に、住宅の防犯対策費用に関する補助について紹介があった。 交通・地域安全課から資料に基づき説明を行った。

《主な意見・質疑等》

- ●追加するものが、保育園など特定の施設となっているが、そもそも駅から半径500m以内を禁止すればよいのではないか。(速水委員)
- ◇他地区でもそういった意見はあった。ただ、本条例は、時代と合致していない部分もあるが、健康被害を目的としたものではない。市議会でも、路上喫煙や指定喫煙場所についても意見をいただいているので、併せて今後の検討事項とさせていただく。 (渡辺総括副主幹)
- ●現状報告だが、地域清掃を行うと、駐車場など見えないところは、吸い殻でいっぱいである。そういったところも検討してもらいたい。(岡城会長)
 - (3) 地域活性化事業交付金見直しについて

事務局から資料に基づき説明を行った。

《主な意見・質疑等》

- ●南区は申請が少ないため、予算が減少している状況である。マップ作成事業は活性 化交付金を使えることとなっているが、他の補助金の対象となっている防災マップや 商業マップなどは、地域活性化交付金の対象にならないなどの条件もあるようであ る。事業を検討しているものがあれば申請を検討してもらいたい。(大木委員)
 - (4) 大野南地区まちづくりを考える懇談会について

事務局から資料に基づき説明を行った。

《主な意見・質疑等》

- ●まちづくり懇談会の開催に向け、テーマの検討をしてきたが、テーマが幅広くなっており、まとめていく必要がある。今後の方針として、まちづくり懇談会を実施する方針でよいか。(大木委員)
- ●これまで全体会でアンケート、グループワークを行った結果、様々なテーマが課題として挙がっている。そういった経過もある中で、一つの意見として、各委員の優先順位について、集計を行い、優先順位が高いものをテーマにしてはどうか。または、テーマの設定については、役員会に一任し、重要だと考える事項について検討を進めてはどうか。(藤井委員)
- ●直近の事例の紹介となるが、行政から「地区敬老事業の見直し案」が示された。地区敬老事業について簡単に説明すると、大野南地区では、実行委員会を立ち上げて、これまで長い間貢献された方を敬い、長寿を祝うために、何とか一人あたり約450円でできることを検討し、メッセージを添えて記念品をお届けしている。お届けは、

民生委員の方にお願いし、ご苦労をかけながら、一生懸命に届けてもらっている。市では見直しを行い、社会福祉協議会への補助金の拡充を行うとの説明であったが、地域福祉に関する様々なことを実施してもらうためには、確かに拡充する必要がある。しかしながら、その代わりに敬老事業を廃止すると、年1回のことではあるが、今まで頑張って社会に貢献されてきた高齢者が、地域とつながる大切な機会を失ってしまう。(渋谷委員)

- ●以前から社会福祉協議会の体制強化のための補助を要望していたとのことだが、お祝いのための敬老事業の予算を充てる市の考え方は、如何なものかと感じている。何でも「地域」に丸投げされ、地域の荷が重くなるような状況を招くことにも疑問を感じる。そのままテーマとするのは難しいが、委員の皆さんにも、このまま高齢化が進むと難しい状況があることをご理解いただきたい。市の高齢者保健福祉計画が策定されているが、記載されている環境の整備や体制について、まずは市が主体的な役割を担い実行するべきであり、その上で、地域で何ができるか考える必要がある。これは高齢者だけに限った話ではなく、子育てや福祉なども同様である。(大木委員)
- ●行政の関わりを含め、地域コミュニティの課題を広げて、近隣とのつながりや地域 力の衰退の課題を膨らませ、その一つとして敬老事業を取り上げて検討してはどう か。(金澤委員)
- ●大野南地区は、一定のインフラは整っており、今すぐに市民生活に支障を来たすものはないが、一極集中になっていて、ドーナツの外側では、不便になっているところがある。そういった部分の補完を民が頑張っていて、買い物支援やサロンなどに取り組んでいる。そういった実績を挙げながら、行政の対応や予算の削減を指摘する必要がある。地域では民生委員の選出にも苦心しており、お互い様意識が希薄化している。地元の商店が廃業し、近くで買い物ができなくなっており、若い人も含めて地元を大切にする意識を育み、「地域コミュニティ」についてもっと考えてもらう必要がある。職員を増やせばうまくいくという考え方も疑問であり、市民目線で寄り添う予算の使い方が必要であり、敬老祝い金は、みんなが汗をかいて、届けているのは大事なことである。そういったことも含めてテーマを検討した方が良いと思う。(中村委員)
- ●行政が地域に求めていることが多いと感じる。敬老事業についても、届けるのは大変だが、つながりのための大事な事業であり、実際にこの事業があるので、会って話ができることもあると聞いている。こういったものも地域コミュニティの課題であり、地域のつながりが深める必要性を、日々実感している。(土山委員)
- ●地域コミュニティの課題を中心に議論をして、テーマにするのが良い。個々には反対意見もあるかもしれないが、それも含めて議論すればよい。中には、地域コミュニティはいらないとの意見もあるかもしれない。(速水委員)
- ●地域コミュニティの課題をベースに話を進めたいが、反対でもよいので意見はあるか。(大木委員)
- ●来年の2月にまちづくり懇談会が開催されるとなると、プラウドタワー相模大野クロスが完成し、入居する時期である。これまで、まちづくり会議などでも、伊勢丹跡地について、会議やグループワークをしてきたにも関わらず、このタイミングで、この話を触れないことに違和感がある。この5年間で大きな課題として議論したテーマであるので盛り込むべきではないか。(岩井委員)
- ●そのとおりだと思う。既に販売も進み、段階が変わってきている状況であるが、街の一員としてやっていくことを期待しており、そういったことも市長にもご理解いただき、必要な支援をしてもらいたい。地域コミュニティの課題として取り扱いたい。 (大木委員)
- ●若い人も含めて縁づくりをしていきたいと考えており、地域コミュニティにつなが

ってくると思われるので、そういったところを議論すればよい。(岡城委員)

- ●多々ある課題の中で、地域ができることとできないことが明確になる。そういった中で、適切なテーマ設定だと思う。実感として、情報の伝え方がうまくいっていないと感じる。それぞれが努力しているが、それが伝わっていないことを懸念している。例えばイベントなどでも、実際に始まって知ることが多く、アナログな方法かもしれないが、街角の掲示板などを設置し、1ケ月前には告知し、みんなで誘い合わせて参加するような柔らかい繋がりの流れをつくれると良い。(新村委員)
- ●「地域コミュニティの課題」を中心に、役員会でたたき台を検討し、全体会で提案する。(大木委員)
 - (5) 各団体からの地域事業やイベント等の情報交換について
- ●11月16日に2回目となるワインのイベントを開催させていただく。ワイン好きの方だけのイベントではなく、食事だけの購入などもできるので、是非お立ち寄りいただきたい。(角田委員)
- ●11月2、3日に相生祭を開催させていただく。学園祭の第1回は昭和24年に開催しており、相模大野駅。商店街、自治会と一緒になって開催し、高松宮殿下ご夫妻にきていただいた。再度実施したいと考えているので、ご協力いただきたい。なお、地域物産展を実施させていただくので、楽しんでいただきたい。また、11月30日に福祉イベントとしてあじさいサミットを開催し、車いすによる街歩きイベントやポニーの乗馬体験会を実施するので、是非参加いただきたい。(速水委員)
- ●10月26日にハロウィンフェスティバルを実施する。皆様のご理解、ご協力をお願いしたい。また、11月2日にはアートクラフト秋の市が開催されるので、こちらも楽しみにしていただきたい。(三澤委員)
- ●ハロウィンフェスティバルについて問題を共有したい。会議を重ね、許認可の関係も完了していたが、先週の金曜日に、突然相模大野駅のデッキを工事する話があり、来週の末頃には資材を置くとのことであった。実行委員長や関係者が土木事務所と話をしているが、往来にも支障を来たす状況である。前もって話があれば、対応できたかもしれないが、マップの作成なども終わったタイミングで言われ、困っている状況である。(岩井委員)
- ●相模大野駅南口広場におけるインターロッキングの対応について、8月に自治会長にも同席してもらい、南土木事務所と話をしたが、毎年250万円の予算しか対応できないので、4期以上はかかるとの説明であった。しかも内容としては、インターロッキングの補修をする工事であって、毎回アスファルト舗装の部分ができるとのことであった。10月に今年分の修繕工事が終わり、また今後についての話し合いが行われる予定である。全体での対応を含め、都市整備課との話し合いも視野に入れて動きたい。(岩井委員)
- ●もんじぇについては、概ね成功に終わったが、暑さで倒れてしまった方が4名おり、 来年度は開催時期を9月20日頃に変更することを検討している。また、銀座祭については、ハロウィンと併せて実施する予定である。(中田委員)

4 閉会

大野南地区まちづくり会議委員出欠席名簿

(出席者20名 欠席者5名)

	(出席者20名)			有り名)
No	団体名	団体での役職	氏名	出欠席
1	大野南地区自治会連合会	会 長	大木 恵	出席
2	大野南地区自治会連合会	副会長	金澤 秀信	出席
3	大野南地区自治会連合会	副会長	瀬戸 量平	出席
4	大野南地区自治会連合会	副会長	中村 洋子	出席
5	大野南地区自治会連合会	会 計	土山 美保	出席
6	大野南地区社会福祉協議会	会 長	渋谷 典彦	出席
7	大野南地区民生委員児童委員協議会	会 長	岡城 孝雄	出席
8	女子大通り商工振興会	会 長	飯田 美津雄	出席
9	相模大野北口商店会	副会長	角田 安弘	出席
10	相模大野銀座商店街振興組合	副会長	中田 克己	出席
11	相模大野南新町商店街振興組合	理事長	岩井 大輔	出席
12	ボーノ会	会 長	三澤 崇典	出席
13	医療法人社団仁恵会黒河内病院	事務局長	後藤 一郎	欠席
14	相模原市立鶴の台小学校PTA	会 長	山﨑 みどり	欠席
15	相模原市立鹿島台小学校PTA	会 長	渋谷 隆光	出席
16	相模原市立新町中学校PTA	会 長	市川 恵奈	出席
17	学校法人相模女子大学	常務理事	速水 俊裕	出席
18	大野南地区老人クラブ連合会	会 計	岩永 征四郎	出席
19	相模原市立大野南公民館	館長	島田 欣一	欠席
20	相模原市立上鶴間公民館	館長	三條 朋美	欠席
21	大野南地域包括支援センター	センター長	岡本 三千	出席
22	上鶴間地域包括支援センター	センター長	古荘 祥子	出席
23	経験有識者	_	新村 玲子	出席
24	経験有識者	_	天野 佑亮	欠席
25	公募	_	藤井 琢磨	出席



大野南地区まちづくり会議第3回全体会次第

日 時 令和7年10月14日(火)午後2時から 場 所 南区合同庁舎3階 講堂

-	HH	^
1	開	

- 2 会長あいさつ
- 3 議題
- (1) 相模原市のごみの現状と課題について

(廃棄物政策課、資源循環推進課、清掃施設課) ………資料1

- (2) 路上喫煙禁止地区の追加の告示について(交通・地域安全課) ………資料2
- (3) 地域活性化事業交付金見直しについて(市民協働推進課) ……資料3
- (4) 大野南地区まちづくりを考える懇談会について 大野南地区全体の課題に関するグループワーク結果 …………資料4
- (5) 各団体からの地域事業やイベント等の情報交換について
- 4 閉 会

【次回以降のまちづくり全体会日程(会場:南区合同庁舎3階 講堂)】

○第4回**全体会**:令和7年11月18日(火) 午後2時から

○第5回全体会:令和7年12月16日(火) 午後2時から

○第6回全体会:令和8年 2月17日(火) 午後2時から

※まちづくり懇談会候補日 2月12日(木) 午後6時から

大野南地区まちづくり会議委員名簿

(敬称略)

No	団体名	団体での役職	氏 名
1	大野南地区自治会連合会	会 長	大木 恵
2	大野南地区自治会連合会	副会長	金澤 秀信
3	大野南地区自治会連合会	副会長	瀬戸 量平
4	大野南地区自治会連合会	副会長	中村 洋子
5	大野南地区自治会連合会	会 計	土山 美保
6	大野南地区社会福祉協議会	会 長	渋谷 典彦
7	大野南地区民生委員児童委員協議会	会 長	岡城 孝雄
8	女子大通り商工振興会	会 長	飯田 美津雄
9	相模大野北口商店会	副会長	角田 安弘
10	相模大野銀座商店街振興組合	副会長	中田 克己
11	相模大野南新町商店街振興組合	理事長	岩井 大輔
12	ボーノ会	会 長	三澤 崇典
13	医療法人社団仁恵会黒河内病院	事務局長	後藤 一郎
14	相模原市立鶴の台小学校PTA	会 長	山﨑 みどり
15	相模原市立鹿島台小学校PTA	会 長	渋谷 隆光
16	相模原市立新町中学校PTA	会 長	市川 恵奈
17	学校法人相模女子大学	常務理事	速水 俊裕
18	大野南地区老人クラブ連合会	会計	岩永 征四郎
19	相模原市立大野南公民館	館長	島田 欣一
20	相模原市立上鶴間公民館	館長	三條 朋美
21	大野南地域包括支援センター	センター長	岡本 三千
22	上鶴間地域包括支援センター	センター長	古荘 祥子
23	経験有識者	_	新村 玲子
24	経験有識者	_	天野 佑亮
25	公募	_	藤井 琢磨

$\mathbb{J}_{\overline{\alpha}}^{\mu}$

昕

時代の変化により、社会が抱える課題

人口減少

超高齡化



働き手不足





他にも、社会保障、子ども・子育て、環境、産業振興、まちづくりなど・

⇒市(行政)は市民に対して十分なサービス

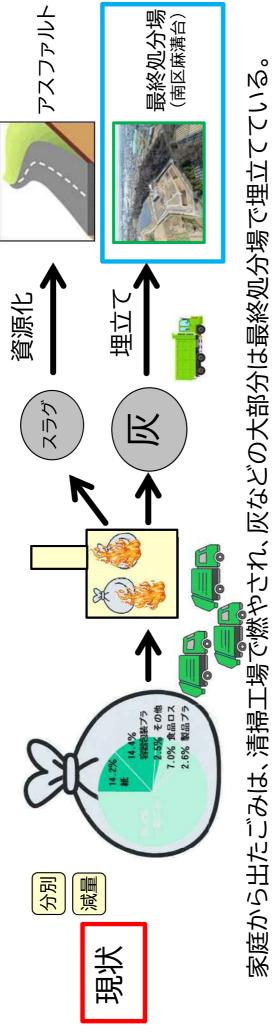
を提供し続けていけるのか?

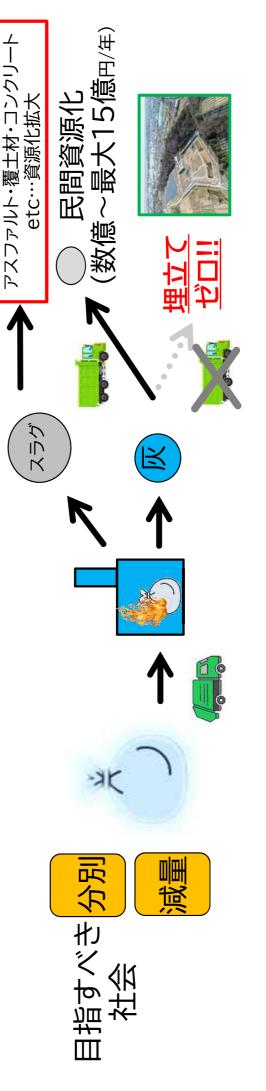


ている課題や③皆さんにお願いしたい取組みに 相模原市の①ごみの現状とともに、②直面し ついてお伝えすること

学なとない。

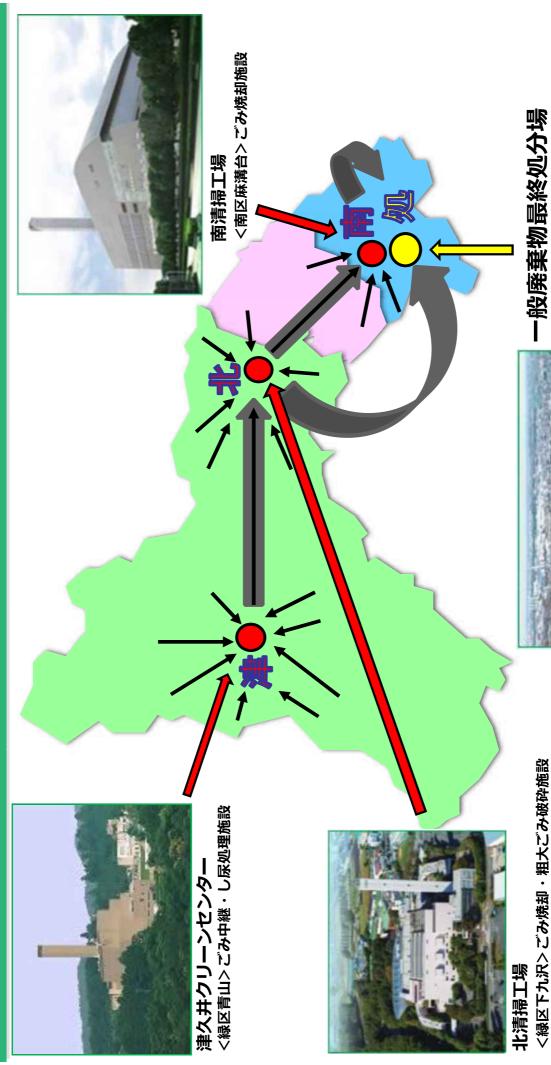
最終処分場を必要としない日常





家庭ごみを大幅に減らし、それでも出る灰は全て資源化などで有効活用。埋立てゼロへ。3

家庭にあり流れ



-般廃棄物最終処分場(ツゲンジャーパーク) 〈南区麻溝台〉

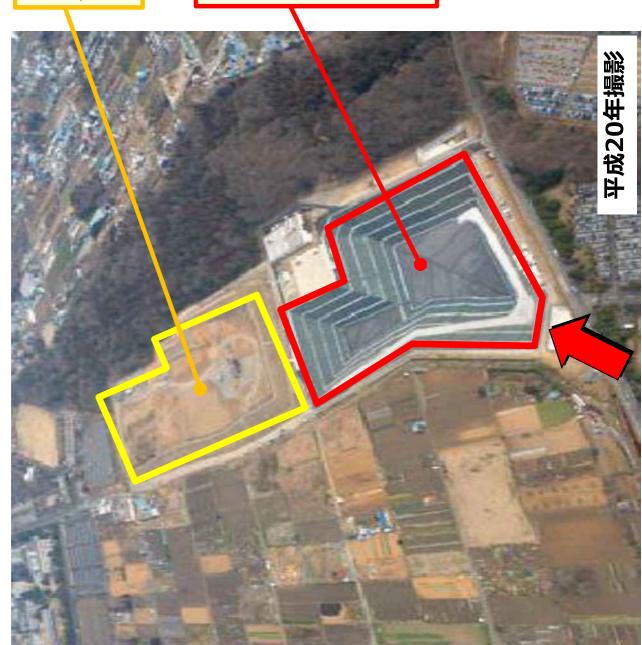
灰などの埋立処分

市内各地区のごみが

焼却などの過程を経 て集まっている!

-般廃棄物最終処分場(シゲンジャーパーク)の役割

最終処分場=ごみを燃やした後の灰などを埋め立てる場所



第1期整備地(南区麻溝台)

・埋立て完了(S54年~H20年)

第2期整備地(南区麻溝台)

- ・埋立て中(H20年~) ・整備費約64億円
- ・年間1.9万トン埋立て
- ⇒25mプール25杯分相当

般廃棄物最終処分場(シゲンジャーパーク)の課題

現在埋立て面(地表面とほぼ同じ高さ)



第2期整備地(平成20年埋立開始当時撮影)







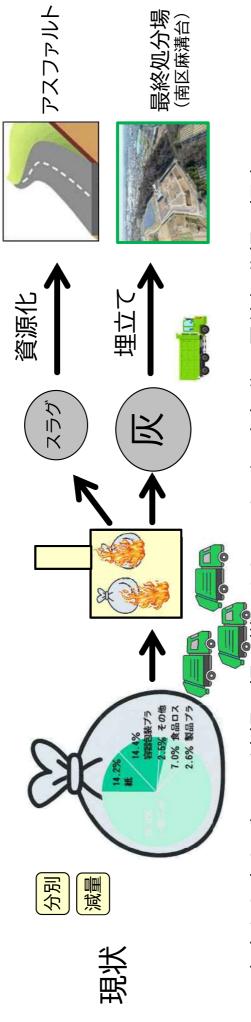
第2期整備地(令和7年9月撮影)



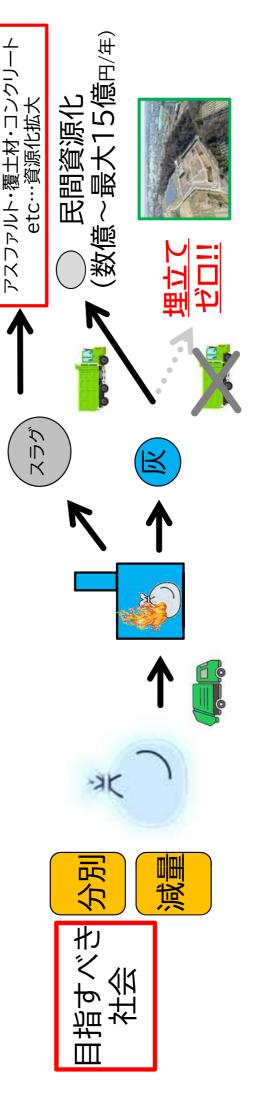
第2期整備地(令和7年9月撮影)

田指サベボ社(再語)

最終処分場を必要としない日常

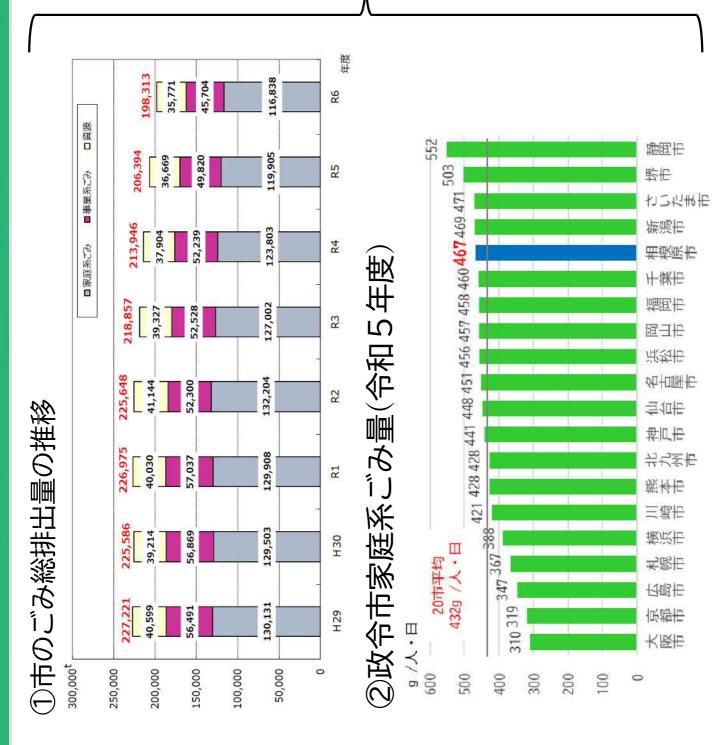


に場で燃やされ、灰などの大部分は最終処分場で埋立てている。 家庭から出たごみは、清掃コ



家庭ごみを大幅に減らし、それでも出る灰は全て資源化などで有効活用。埋立てゼロへ。

一政令市比



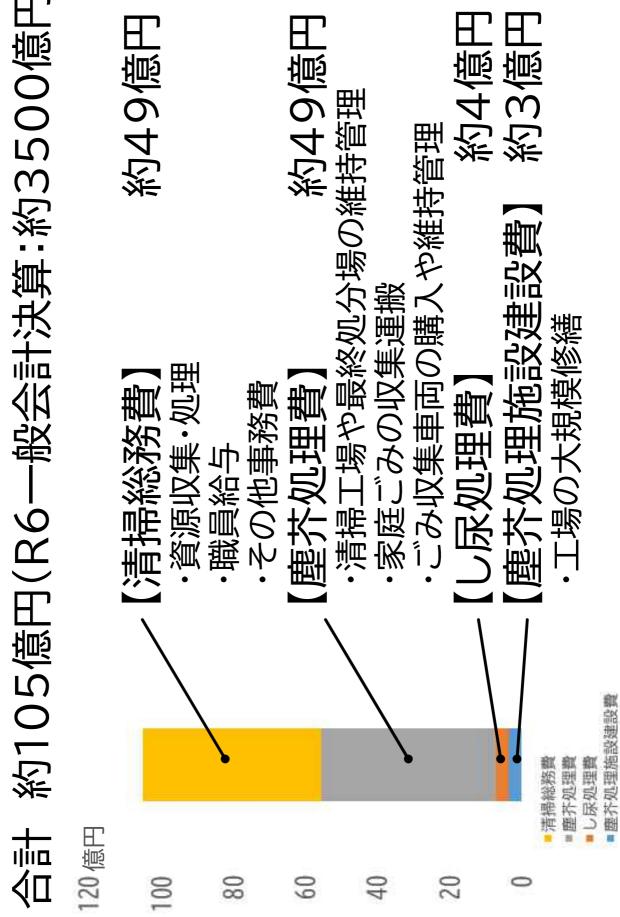
にみの量は減って

はいるが、政令市

の中では多い状況

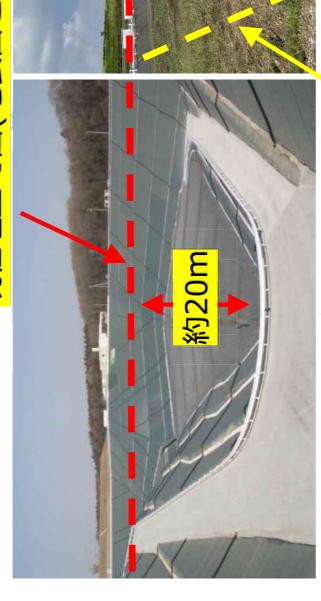
言の声詞の引

約105億円(R6—般会計決算:約3500億円 加加



般廃棄物最終処分場(シゲンジャーパーク)の課題(再掲)

現在埋立て面(地表面とほぼ同じ高さ)



第2期整備地(平成20年埋立開始当時撮影)



あと12年(令和19年) 満杯になってしまう見込み



第2期整備地(令和7年9月撮影)



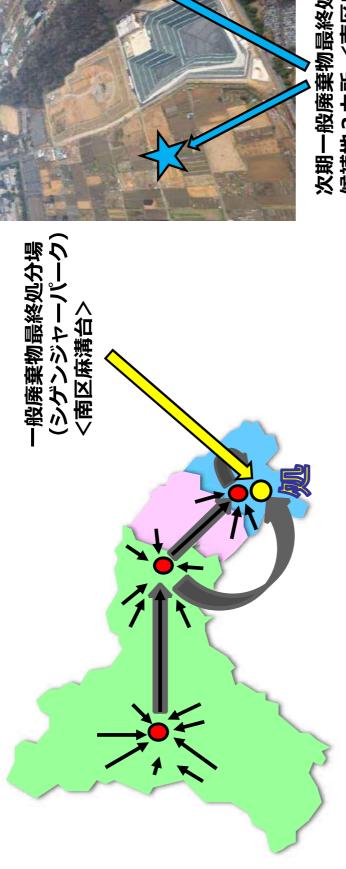
第2期整備地(令和7年9月撮影)

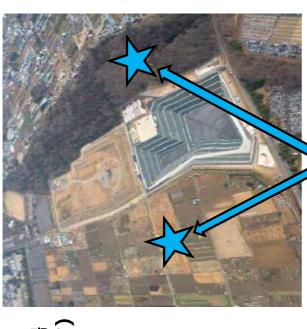
次期一般廃棄物最終処分場整備の課題

/ 立地可能な候補地が極めて限られる 、広大な土地が必要、法規制など、 **、候補地となった地域住民の理解が必要** (最終処分場のある地域への負担)

整備に多額の費用と時間が掛かる 、用地取得、工事など、

別最終処分場整備による地域負担(麻溝地区の例)





候補地2力所 <南区麻溝台> 次期一般廃棄物最終処分場

- / 昭和54年から現在まで最終処分場があり続けており 次期候補地にもなっている
- 、次期候補地となった令和4年から現在に至るまで 話し合いが続いている
- 、麻溝地区には清掃工場も立地している

特定の地域に負担が掛かっている状況

|最終処分場整備の課題

「みを減らしていく」とが大切 市民全体が課題として認識

~混ぜればごみ 分ければ資源~ 積場所に出された 家庭ごみの中には、まだ 含まれています。

その街 7.0% 食品ロス 2.6% 製品プラ 質調化できるもの

祖模原市では

4Rを推進

欧暦川みを聞くた結果(布和6年度)



買い物にはマイバックを

Reduce (リデュース) ごみになるものを減らす

食べ残しをしない/食品を食べきる 生ごみは水切りをする







Recve e(UTADE) 再び資源として使う

ごみと資源 (カン、びん、古紙等) は、

フリーマーケットやリサイクルショップを利用する

マイボトル、マイはしを使う 壊れたものは修理して使う

Reuse (yz-z)

ものを繰り返し使う

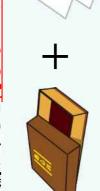
分別して出す 生ごみを堆肥化する

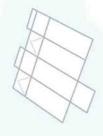


4

市民が単近に取り組めること(具体例)

資源にすると約30~40グラムの削減 お菓子等の空き箱と牛乳パックを分別して

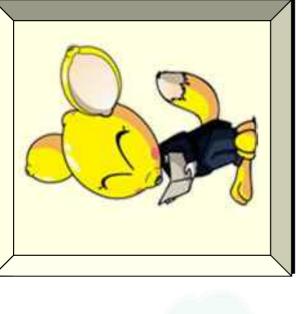




マイボトルを利用すると

ペットボトル1本分の約333グラムの削減





相模原ごみDE71大作戦

☆家庭から出るごみの量を1人1日あたり<u>レモン1個</u> <u>(約100g)分減量することを目標</u>にしております マスコットキャラクター「レモンちゃん」

シャンプー・化粧品など 詰め替え製品を使うと 約40グラムの削減



生ごみを手で絞った場合、 約10%の減量化



生ごみは約100グラム/人・日なので、 約10グラムの削減



寅品ロスを減らず取組み(具体例)

冷蔵庫をチェック

まだ食べられる

消費期限と賞味期限の違いを知る

7.0% 食品口ス 2.6% 製品ブラ

質調化できるもの

欧摩川みを聞くた結果(も和6年度)

てまえどり

にい 插力くがかい。

食料を無駄にしない

調理方法を工夫

買い物時に

て
ま
よ
ど
り

会食時には

5. 3010(さんまるいちまる)運動







している団体



16

6. mottCO(もってこ) 7. フードドライブ 更わない食材は

食べ切れない時は

生活困窮者の支援

日標の1人1日100g減量でこんな効果が





にを減少量



ごみ収集車約13,000台分

年間で約36,000人が排出するCO₂量 年間 13,000トン

約2年の猟船

(※1) ごみ処理原価(処分費)から算出

今後に向けた市の职組(家庭糸ごみ)



Book.off × 下Jモディー× \$506s 💸



①民間事業者と連携したリユースの推進



 (2)プラスチック
 一括回収
 (製品プラスチックを 資源として回収)
 ☆合和8年10月開始
 ☆プラスチックとペッ
 ☆プラスチックとペッ
 ドボトル回収日を 別にする

<その他、検討している事>

- ・レシートや写真なども 紙資源として回収 (資源化できる紙類の 増加)
- ・リチウムイオン電池回収方法の見直し
- ・家庭ごみの有料化
- ・家庭ごみの戸別収集

今後に向けた市の取組(

現在



真

布類、蛍光管・水銀体温計 びん類、かん類、金物類、 使用済食用油

ペットボトル 合プラ製容器包装 図

※種類ごとに分けて出す。





変更後(R8.10~)



- •プラスチックー括回収開始 (製品プラ、容器包装プラ)
 - ペットボトルの日を新設

本日はありがとうございました

組んでいただけるよう、本日の内容をご家族やお知 多くの皆さんに更なるごみの減量化・資源化に取り り合いの方々にも伝えていただけると幸いです

物布夠

とつつ三語ののやご

相模原市ではごみなどを

次の4つに分けています







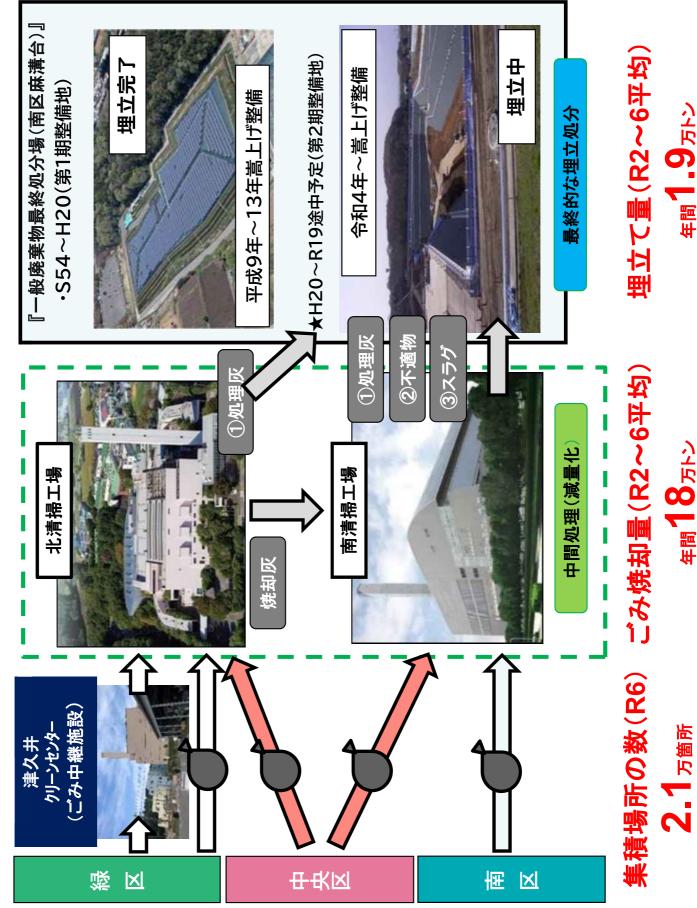




3容器包装プラ 4) 割大川や 2)資源

(集積所)を実施 相模原市ではステーション収集

温 の影の名に関係



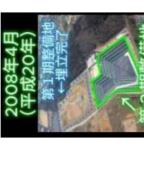
年間18万トン

原市の4Rに関する情報発









シゲンジャーSearch にみ分別

出し方-分け方

- SADE 71 大作明 THE HELDANDERS





PR動画を



「プタ的別アプ)

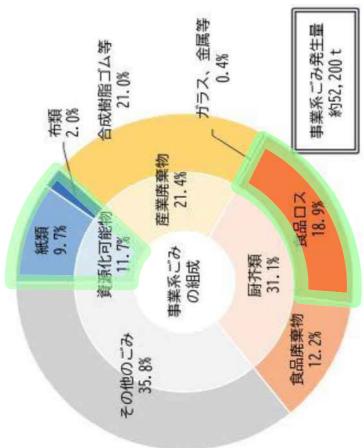
集積場所での早朝啓発







事業系ごみを調べた結果



令和4年度事業系一般廃棄物組成分析調査より

約12% 約19% ・資源化可能物(紙類や布類)

・食品ロス

→ まだまだ減らす努力ができそう



一布かなして 事業者への啓発を続けて していく 市民・企業・市が一 減量化を実現|

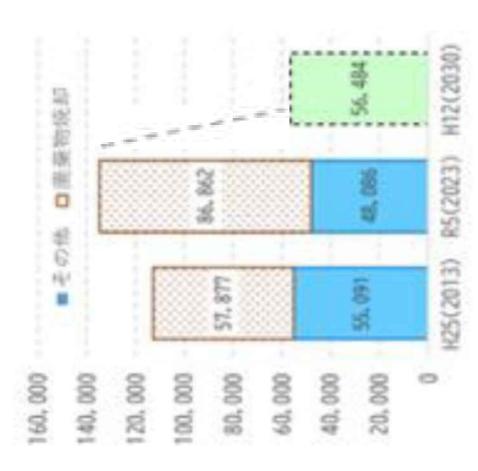
世界的なCO2問題

2050年カーボンニュートラルに向けて

202 (二酸化炭素) の排出量

地球温暖化が世界的な課題と言われる中、各都市でも様々な方法でCO2削減に取り組んでいます。市では市役所業務におけるCO2排出量を、2030年(令和12年)までに2013年度(H12)比で50%以下とすることを目標とし、様々な取組みを進めています。しかし、全体の割合としては、ごみの焼却によるCO2排出量がかなり多い状況です。

市役所業務に伴う002排出量



廃棄物焼却に関するCO2排出量が多い

統却残渣を埋立てず活用 最終処分場延命化の取組(



取組①スラグの利用

- 市工事のアスファルト骨材
 - 最終処分場の覆土材
- 市工事の利用範囲拡大 民間企業と共同研究





有価物



有効利用







取組③民間施設での資源化 (不適物)の試験

溶融スラグ



ふるい下

ふるい分け





(燃え残った金属・ガラス・陶器)

不適物

・銀・銅・パラジウムを回収 402 焼却過程から、金(7kg) 取組4有価物の回収



施工例:護岸等

~現在の最終処分場は令和19年に満杯になってしまいます~

次期最終処分場(ごみ埋立地)候補地

市長に要望書を提出

ごみの減量化アンケー



【要望項目】

次期最終処分場の次の最終処分場は造らないこと 市内に最終処分場用地の確保が困難であり、埋立ゼロを実現すること。

2 更なるごみの資源化・減量化を推進すること

要望項目1の達成に向け、次の内容を踏まえたロードマップを提示す ること。

- ①最終処分場の整備が難しいことを市民にきちんと知らせること。
- ②家庭から排出されるごみを大幅に削減するため、4Rを推進する とともに有料化や戸別収集の実施等を検討すること。
- ③最終処分場への埋立量を大幅に削減するため、ごみ処理段階での 資源化を推進すること。

3 行政と地域がともに考える地域振興策を実現すること

従前から要望している県道52号の4車線化、路線バスの利便性向上 を推進するとともに、最終処分場の跡地利用や麻溝公園周辺のまちづく り等に関するワーキンググループを組織し、話し合った地域振興策を実 現すること。

なお、仮に次期最終処分場の最終候補地に麻溝地区の候補地が選定された場合には、 以降は麻溝地区に最終処分場を造らない旨の誓約書を提出すること。

現在、候補地の絞り込みに向けて、麻溝地区では堆積物等につい て調査が行われています。

市との協議の進捗状況については随時お知らせします。

お問い合わせは

発行日 令和7年3月14日

麻溝地区まちづくり会議

麻溝まちづくりセンター mail: asamizochiku@gmail.com



麻溝地区が最も有力な候補地とされる可能性もあるため、 まちづくり会議*で対応について検討を重ねて 令和6年11月12日付けで市長に要望書(⇒)を提出しました。

*各地区のまちづくりの課題解決に向けた活動に協働して取り組むための会議で、 自治会や社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会、公民館、学校、PTAなど地域団体で 構成されています。

私たちが出している…ごみの行き先

(相模原市 令和5年度実績)



家庭系ごみ排出量 119.505トン (4525) ラム/人・日) 食品ロス排出量 11.017トン 食べ残し **9.077**トン

・手付かず食品 1.940トン

却 175,505トン 北清掃工場 65, 201トン

最終処分量 19,444トン

~ あさみぞ発 ~ ごみの減量化大作戦!!

混ぜればごみ 分ければ資源

詳しくは市発行の「ごみの出し方」をご覧ください



みんなも一緒に やってみよう♪



- ☑ ごみの分別を徹底しよう!
- ☑ 買いすぎ、作りすぎ、食べ残しをなくそう!
- ☑ 生ごみは水切りをして、減量しよう!
- ☑ レジ袋ではなく、マイバックを使おう!
- ☑ 使い捨ての物は分別してリサイクルへ!
- ☑ フリマサイトなどを活用してみよう!



資源化について



ごみの分別

作戦

ごみの減量化 ごみの減量を 目指して



調べてみよう!



路上喫煙禁止地区の追加の告示について

1 概要

相模原市路上喫煙の防止に関する条例に基づき、新設された保育所、こども園等のうち、指定基準に該当する施設の外周道路の追加の告示を行うもの。

2 関係機関及び関係団体の意見聴取

路上喫煙の防止に関する条例第5条第2項(市長は、禁止地区を指定しようとするときは、あらかじめ関係機関及び関係団体の意見を聴かなければならない。)にて、禁止地区の指定にあたっては、あらかじめ関係機関及び関係団体の意見を聴かなければならないと規定されているため、該当する施設の所在するまちづくり会議に意見聴取するもの。

3 大野南地区の路上喫煙禁止地区の指定状況

- ・相模大野駅周辺地区(市内全鉄道駅周辺)の道路
- ・駅に近接する保育所、幼稚園、認定こども園、小中学校の外周道路

No.	地区名	住所	
1 谷口中学校周辺		上鶴間本町4-13-43	

※区域図は別紙1のとおり

4 追加

平成27年度から令和7年度に新設され、駅から半径500m以内にある保育所、こども園等の外周道路(指定対象外施設を除く。)

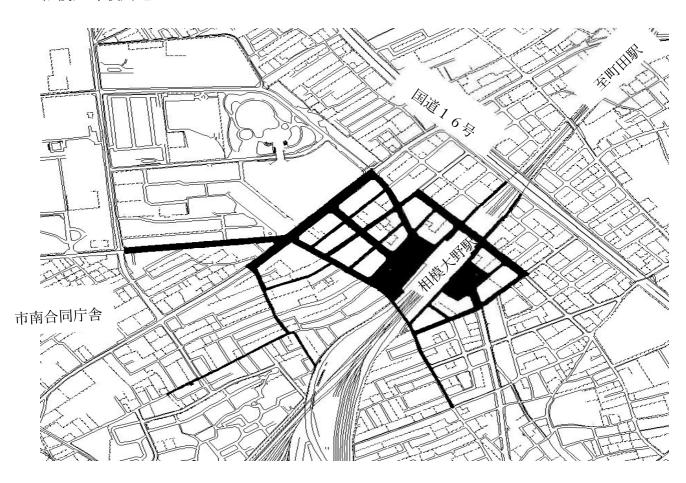
No.	地区名	住所	開園日
1	まあむキッズ相模大野南口周辺	相模大野7-7-5	Н29. 4. 1
2	明徳かみつるま保育園周辺	上鶴間本町4-11-10	R2. 4. 1

※区域図は別紙2のとおり

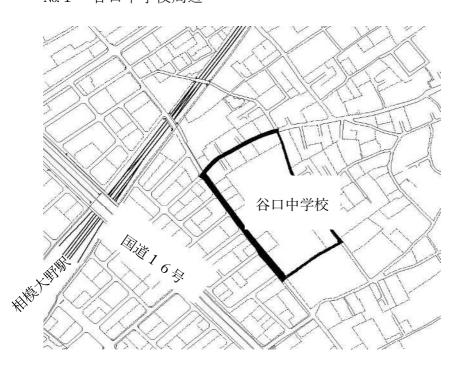
以上

4

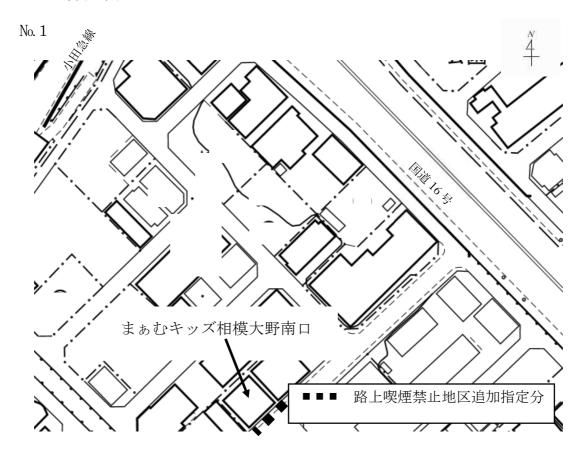
相模大野駅周辺



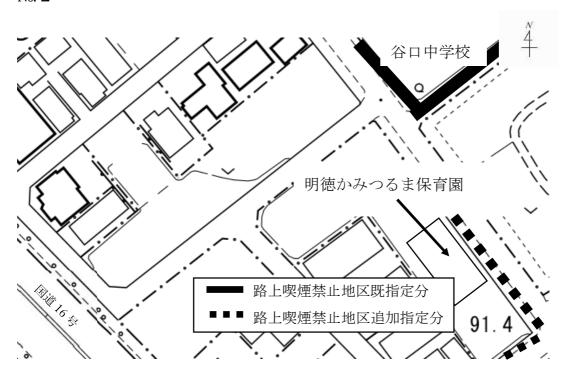
No.1 谷口中学校周辺



<追加分区域図>



No. 2



7市協課第1966号 令和7年9月30日

まちづくり会議代表(会長) 殿

市民協働推進課長

相模原市地域活性化事業交付金見直しについて(通知)

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃から市政につきまして、格別のご理解とご協力を賜り、お礼申し上げます。

さて、相模原市地域活性化事業交付金について、令和6年度に本交付金について活動団体へのヒアリングを実施したところ、交付期間の見直し等を求める声があったことから、別紙「地域活性化事業交付金見直しについて」のとおり、令和8年度に向けて制度の内容を見直すこととなりましたのでお知らせいたします。

今後ともご理解とご協力賜りますようお願い申し上げます。

以上

市民·地域活動支援班 石原·<u>田頭</u> 042-769-8226(直通)

令和8年度からの 地域活性化事業交付金見直しについて(概要)

市民局市民協働推進課

※令和7年度にモデル事業を実施し、令和8年度に要綱改正を行い本格的な運用を予定

◎見直しのポイント

- ✓ 交付回数を3年(3回) → 最大5年(5回)までに延長できる。
- ✓ 交付金の補助率は、3回目までは10/10以内、4回目は3/4以内、5回目は1/2以内とする。
- ✓ マップ作成系事業は、情報更新の必要性から交付回数の制限はなし。 (ただし、継続して交付申請をする場合は、直近で交付金交付を受けた年度の翌年度から起算して原則3年を 経過している必要がある。)

	対 象	交 付 期 間	補助率
従来	要綱第2条別表第1に掲げる事業	3年間又は3回	3年(3回)目まで 10/10以内
拡充部分	要綱第2条別表第1に掲げる事業のうち、 区で強化したいことや事業の発展性等を鑑 みて、各区で対象を決定する。	最大 5 年間 又は 5 回	○4年(4回)目は3/4以内○5年(5回)目は1/2以内

ı		2023/0/13元权人	
	A班	B班	C班
A地域コ ミュニティ の課題		大型マンションの建設による自 治会加入率の低下や地域コ ミュニティへの希薄化 防災や避難所などの重要性や、 メリットを重点的に伝える必要 がある	防犯・安全に関する地域の積 極的な声掛けの実施
		13.00.0	
B都市機 能の集中 による課 題		移動販売やコミュニティバスの 運行が期待される	買物難民が増加し、エリアに よっては、バスがカバーできて いない。コミュニティバスなどの 検討をしてもらいたい
C地元企 業の課題	企業側にとって仕事をする人口 を増やすという視点が必要		
D生活環 境・公共 施設等の 課題		遊び場が少ないことに対し、学 校開放や公共施設を自由に開 放してはどうか	教育施設の雨漏りや老朽化の 改善が必要であり、空調は避 難所となる体育館や、教室以 外の廊下なども教育施設の健 全性という視点で検討すべき
E娯楽・商 業施設の 課題	休日に家族で過ごせる場所があれば、より一層定着してもらえる 既存のものを活かし、多世代の繋がりをもって、継続することで、地元愛を育むことが重要	キッズランドの盛況ぶりやガ チャエリアの利用状況から室内 の施設や休憩スペースが不足 している	
F自転車 利用・マ ナーの課 題		中央公園から駅方面に向かう 自転車速度が危険であり、ス ギ薬局周辺の歩道が狭いため 接触リスクがある 北里大学方面に向かう自転車 走行について、交通ルールを 守っていない人がいる コリドー街改修工事の変化を 確認、検証する必要がある	
G道路イ ンフラの 課題	生活道路の狭隘により、通行や 歩行が危険であり、南北のアク セスの悪さや信号が長いことを 改善して欲しい		
H防犯・ 安全の課 題			防犯カメラの設置状況のマッピング、共有により安全な通学路や犯罪抑止につなげる。 防犯カメラはランニングコストが膨大になるので、行政が設置してもらいたい。

大野南地区の課題【2025/10/14】

A 地域コミュニティの課題

地域力の衰退、マンション増による自治会未加入、近隣とのつながりの希薄化、高齢世帯などの増加

【キーワード】 高齢化、マンション、無関心、地域活動

B 都市機能の集中による課題

相模大野駅周辺の集中による周辺地域との格差

【キーワード】

店舗、廃業、買い物、交通環境、道路整備、移動販売、コミュニティバス

C地元企業の課題

企業が少ない、起業環境の不足、働き手の確保

【キーワード】

ベンチャー企業、アントレプレナー、官民学連携

D 生活環境・公共施設等の課題

プール・体育館がない、こどもの公園利用者が少ない、日陰や雨天時の遊び場が不足、会議や勉強会などのスペースが少ない、地域の活動場所が少ない、学校老朽化

【キーワード】

こども、学生、高齢者、老朽化、施設開放、学校全体の空調

H 防犯・安全の課題

防犯カメラが少ない、空き家の増加

【キーワード】

不審者情報、コリドー閑散・客引き、防犯カメラ位置マッピング、地域の声かけ

G 道路インフラの課題

道路の幅員が狭い、歩道が狭いまたはない、抜け道により交通量が増加した際に危険、渋滞が多い

【キーワード】

すれ違い危険、通勤・通学時、行幸道路、国道16号、県道51号渋滞、 イベント時の歩道、人口増、南北のアクセス改善

F自転車利用・マナーの課題

自転車が多い、駐輪マナーが守られていない、自転車マナーが悪い、歩 道が狭い

【キーワード】

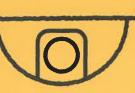
自転車のスピード、逆走、自転車レーン、歩道走行、駐輪場不足、路上駐輪、コリドー改修工事の影響、中央公園から駅方面、北里方面

E娯楽・商業施設の課題

娯楽施設が少ない、ファミリーで過ごせる場所がない、癒しの場所が少ない、屋内の施設や休憩スペースの不足

【キーワード】

映画館、屋内施設、集客力、伊勢丹撤退、小田急操車場跡地、趣味 を楽しむ、気分転換、定住、既存のものを活かす、継続、地元愛



命や財産、笑顔を守るため

防犯対策はしっかり行いましょう



相模原市では住宅の防犯対策費用を 最大 20,000 円補助します!

令和7年11月5日(水)~ 12月26日(金)

※ただし、予算額(2,000件分)に達した場合は、事前の予告なく、予定より早く終了する場合があります。

補助対象者

○購入時・申請時) 相模原市に住民登録のある方

○本人及び同一世帯の人がこの補助金交付を受けたことがない人(1世帯1回まで)

補助額

設置及び購入金額(税込)の2分の1 補助上限額 20,000円 (補助上限額以内であれば複数の防犯用品を合算しての申請も可能です。)

対象となる 防犯用品

- ○録画機能付きドアホン
- ○防犯フィルム
- ○屋外防犯カメラ
- ○面格子
- 〇屋外人感センサーライト・センサーアラーム
- ○玄関ドア錠(防犯性能が高いもの)
- ○補助錠 ○鍵付き宅配ボックス など
- (令和7年10月1日以降に購入・設置したものに限ります。)





申請の流れ

対象となる防犯用品を購入・設置し、領収書を受領

(購入先の指定は行いません。インターネットでの購入も対象としますが、領収書を発行できる購入先にて購入してください。)



申請フォームによる申請

右のQRコードにより申請フォームに アクセスし、必要事項を入力し、必要 書類を添付して申請を行ってください。 ※11月5日以前にはアクセスできません。



添付書類

- ○領収書又はレシートの写し ○本人確認書類の写し (免許証、マイナンバーカードなど)
- ○購入・設置した防犯対策用品の写真
- (金融機関名、支店名、口座番号、口座名義が確認できるもの) ○振込先口座情報の写し

申請書(紙)による申請

申請書に必要事項を記入し、添付書類とともに各 区役所地域振興課又は、各まちづくりセンター(橋 本、中央6地区、大野南を除く)、各出張所、連絡 所(牧野、佐野川)へ提出してください。(郵送で の受付はいたしません。)

- ※まちづくりセンター、出張所、連絡所(牧野、佐野川)では、 書類の書き方の説明や提出書類の確認は行えませんので、提 出書類をまとめて封筒に入れ、ご持参ください。 ※申請書は、交通・地域安全課、各区役所地域振興課、まちづ
- くりセンター(橋本、中央6地区、大野南を除く)、出張所、 公民館(沢井を除く)に配架しています。また、市ホームペー ジからもダウンロードすることができます。

指定された口座へ補助金の振込み(指定口座への振り込みは、令和8年1月20日以降行います。)

相模原市コールセンター TEL 042-770-7777(担当:交通·地域安全課) お問合せ

裏面もご覧ください



その他の注意事項

- ○申請の際に領収書又はレシートの写しが必要となります。領収日及び購入した店舗名、購入者名が記載され、防犯用品を購入したことが分かるものに限ります。
- ○適格請求書や支払明細書、納品書は、領収書とは認められません。
- ○個人間売買やフリーマーケットサイト(アプリ)等での購入品は、補助対象外となります。
- ○各種ポイント、クーポン、ギフト券、商品券などでの購入分は、補助の対象外となります。
- ○購入・設置した物品等の譲渡・転売・返品は禁止とします。
- ○新築住宅は対象外とします。
- ○設置費用については、専門業者が設置を行った場合のみ補助対象とし、個人的な依頼に基づく設置等 については、補助対象とはなりません。
- ○賃貸住宅に設置する場合は、トラブルにならないよう、所有者からの同意を得るようにしてください。



その他のQ&Aについては市ホームページをご覧ください。



0

対象とならない防犯対策用品はあるのか。

相模原市ホームページ



住宅への防犯対策のため、携帯できる防犯ブザー等は対象外となります。また、子どもや高齢者、ペットの見守りを目的としたカメラや窓ガラスの飛散防止用フィルムなどは対象外となります。基本的には、用途が防犯となっている物品に限ります。補助対象になるか迷う場合は、購入前に交通・地域安全課(042-769-8229)までご連絡ください。



0

設置場所による制限等はあるのか。



集合住宅の共用部分に設置する場合は、対象外となります。また、室内に設置するカメラも対象外となり ます。

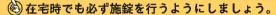


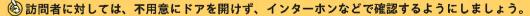
区役所やまちづくりセンター等に書類を持って行くことができないが、 どうしたら良いか。



そのような場合は、電子申請をお勧めします。電子申請も難しく、申請書類を区役所等に持って行くことができない事情がある方は、交通・地域安全課(042-769-8229)までご連絡ください。

防犯対策のワンポイント





🕲 玄関をツーロックにする、窓には補助錠を取り付けるなど防犯設備を充実させましょう。

- 🕲 防犯カメラやセンサーライトは外部から見える位置に設置し、侵入しにくい家であることをアピールしましょう。
- **め** 固定電話は、在宅時も留守番電話に設定するか、迷惑電話防止機能付き電話機に変えるなどの対策をしましょう。
- **② 宅配業者を偽装した手口もあるので、宅配ボックスを活用し、宅配の荷物を直接受け取らないことも有効です。**



交通・地域安全課 X はこちら→ (申請状況を11/6以降随時お知らせします)